

民報 あばしり

NO. 921

2013. 6. 2

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三、四四五七



市職員が援農 天候不順で

大幅な遅れに貴重な戦力

網走市農政課によると、天候不順で畑で作業できない日が続き、市内では27日現在、平均でビートの移植が18日バレイシヨの植え付けが17日、二条大麦が24日、秋蒔き小麦が7日、それぞれ平年から遅れているとのこと。

日程的には、28日から31日までの4日間で農政課の職員が延べ24人、今年の新入職員が研修の一環として19人入りました。初日の28日は天候に恵まれ、気温も32度まで上昇する中、ビートの補植を中心に朝7時から夜5時までの長時間にわたって農作業を手伝いました。

援農が入った嘉多山の農家では、「例年なら連休中に終わっていた作業だが、今年は大変な年になりました。これから急ピッチで植え付けしますが、援農は大変助かります。」と感謝していました。

援農が入った嘉多山の農家では、「例年なら連休中に終わっていた作業だが、今年は大変な年になりました。これから急ピッチで植え付けしますが、援農は大変助かります。」と感謝していました。



焼き肉と花見会のお知らせ

南後援会花見は

6月8日(土) 11時30分～

駒場南4丁目 松浦事務所前庭

会費 1000円



松浦奮戦メモ

先日、あ27日に能取地区の農家を訪問しました。が、農作業の遅れは深刻でした。

農家の方は、例年なら5月中旬には植え付けが終わっているが、今年は、このまま天候が順調であっても6月10日頃までかかるのではないかと。ビール麦は、とりあえず植えたが生育が間に合うかは何とも分からない。しかし、植えないことには始まらないので植えたとのこと。馬鈴薯は、もうすぐ終わるが、ビートは全くこれからで大変だ。人手が足りない時なので、JAと市役所で援農に来るとのことなのでありがたいと言っていました。ちょうど昼時でしたが、昼ごはんを食べると「昼休みしている場合じゃないわ」と、休む間もなくとロータリーかけにでかけ、遅れを取り戻すため1分1秒を惜しむように仕事に励んでいました。私も久しぶりに聞く、援農に心温まる思いをしました。作物が遅れを取り戻すように生育することを願うばかりです。

いっせ東奔西走

先日、NHKのクローズアップ現代で「農業革命スマートアグリ」を放映していた。世界第2位の農業輸出国オランダの世界最先端のIT農業に模たるや東京ドームの何十倍もの敷地、光量やCO2濃度など500以上の項目で制御された人工繊維の畑。コンサルタントが研究機関の先端技術と農家を結び、つねに最適な農業が追求されている。

TTPP交渉参加でゆれる日本の農業。各地で日本型スマートアグリへの模索がはじまっていることを通して日本農業のこれからを考えるというもの。インターネット上では、TTPPとの関係で取り上げたのだから、農産物の貿易自由化を警戒する農家の努力不足、世界の先端技術を勉強し、工夫しTTPPを乗り切ればというメッセージがぶんぶんとの書き込みも数多くあった。この放映、TTPPを意識したことは感じられるが、大地から生まれる農産物が豊かな土壌で生産されたことの意味、豊かな土壌には人工的にできない自然の摂理によるものなどには全くふれていない。そこを描かない番組はうさん臭さを感じました。みなさんはどう考えますか。

流水

私より20歳若い友人は聡明でやさしい気持ちの持ち主、夫の仕事を手助けながら暇を見つけては洋服を仕立てて収入を得ている。そんな多忙にもかかわらず山登りが大好きでとうとう昨年10月には百名山を全山踏破し「私の唯一の勲章」と胸を張っている。夫はダクト(空気調節、換気のための管路)の工場主。といっても日常的には一人で仕事をす。かつては新しい機械も入れて意欲的でやる気に満ち溢れていた夫だがもうすぐ68歳、最近ではメッキリ白髪も目立ち身体の衰えもはた目からでもわかるようだ。▼先日、彼女から手紙が届いた。内容は深刻な後継者問題で、いつ工場をたたもうかと悩んでいるとのこと。特殊な技術が必要とする仕事なので、おいそれと誰かにバトンタッチという訳には行かないよう

で機械などのローンは済んでいるのが何よりよかったです。▼逢えばいつも楽しく、元気をくれる彼女がそんな将来の不安を抱えているとは夢にも思わなかった。年を重ねれば先がどんどん近づき、思わぬアクシデントも生まれる。彼女もそんな時期にさしかかったのだろうか▼私は彼女の愚痴を聞いてあげるしかできない。でも彼女ならきつと良い解決方法を見出すでしょう。後継者問題は今、社会的にも考えなければならぬことだと思ふ。(U)

